

練馬区農業振興計画 (平成23～32年度) 進捗状況

戦略目標	施策	事業名	内容	実施年度	事業実績				達成度	
					23年度	24年度	25年度	26年度		
魅力ある都市型農業経営を推進する	- 1 経営改善に取り組む農業者を支援する	1 農業経営改善支援事業	経営規模の拡大、生産方式や経営の合理化等について支援するため、区、農業委員会、東京都農業振興事務所、東京都中央農業改良普及センター、JAで構成する農業経営の改善を支援するための組織を設置する。	農業経営改善計画認定審査会 農業経営改善支援チーム 認定証交付式	H23～H26	開催	開催	開催	開催	A
		2 認定農業者制度の推進	自らの経営改善に積極的かつ意欲的に取り組む農業者を、農業経営基盤強化促進法の規定に基づく認定農業者に認定していくため、認定農業者制度を推進するとともに、練馬の農業の中核的な役割を果たす農業者を支援します。		H23～H26	19戸	29戸	10戸	3戸	A
		3 (仮称)都市型認定農業者制度の推進	自らの経営改善に取り組むとともに、練馬の農業を支える重要な役割を果たす農業者を、(仮称)都市型認定農業者に認定し、支援していくため、(仮称)都市型認定農業者制度を創設・推進します。		H23～H26	2戸	3戸	2戸	4戸	A
		4 家族経営協定の締結の推進	女性や後継者が家族経営において、担当する分野、収入や休日等を明確にして、家族経営構成員一人ひとりの能力と意欲を發揮できる環境をつくるため、「家族経営協定」の締結を推進します。		H23～H26	3戸	2戸	5戸	1戸	A
		5 農業近代化支援事業	認定農業者や(仮称)都市型認定農業者、またこれらを目指す農業者を対象に、農業施設・機械の近代化や、技術革新による高度生産技術を活用した生産システムの導入に対し、支援を行います。		H23～H26	5件	7件	9件	11件(予定)	A
		6 農業省力化支援事業	JA、東京都中央農業改良普及センター等と連携し、農作業の省力化や低労働力で作れる農産物への転換を進めます。また、担い手不足等で不耕作化しつつある農地に対して、比較的に手のかからない農産物・果樹等を作付けし、区民が収穫の体験や手入れの自主管理を行うことで、農地の活用と観光・交流型の農業経営を推進します。	農業経営改善計画の作成支援 施設整備および農業用機械の購入支援	H23～H26 H23～H26	支援 3件	支援 8件	支援 9件	支援 11件(予定)	A A
	- 2 新たな農業経営の取組を支援する	7 地場農産物ブランドの育成	かつて、練馬を代表する地場農産物であった練馬大根、日本初の国産ビール麦「金子ゴールド」の栽培を促進し、ブランド品としての販路の開拓を図ります。	練馬大根育成事業	H23～H26	生大根・たくあん漬けの新たな販売先の開拓	生大根・たくあん漬けの新たな販売先の開拓	生大根・たくあん漬けの新たな販売先の開拓	生大根・たくあん漬けの新たな販売先の開拓	A
		8 地場農産物ブランド化の推進	地場農産物の高品質化を図るとともに、生産力を増強し、さらにPRを積極的に行うことにより、産地間での競争力を高め、地場農産物のブランド化を推進します。		H23～H26	協議	協議	協議	協議	B
		9 観光・交流型農業経営の推進	農業者との交流を通して、練馬の農業に対する理解を深めてもらうため、ブルーベリー観光農園やふれあい農園などの観光・交流型農業を推進します。	ふれあい農園	H23～H26	17戸	15戸	14戸	15戸	A
				ブルーベリー観光農園	H23～H26	25園	27園	28園	30園	A
		10 農業体験農園の推進	農家が生産緑地内の農地において開設し、運営する農業体験農園を推進します。		H23～H26	運営・PR等支援	運営・PR等支援	運営・PR等支援	運営・PR等支援	A
11 異業種交流活動による商品開発の推進	地場農産物の地産地消を支援するとともに、農業者と商工業事業者との交流(農商工連携)による商品や製品の開発・販売等の支援を行います。	企業間交流活動補助	H23～H24	ブルーベリー・ストロベリーを活用した新製品を開発・販売に補助	ブルーベリー・ストロベリーを活用した新製品を開発・販売に補助	-	-	A		

都市農業の未来を支え、担う意欲ある多様な担い手・支援手を育成する	多様な担い手・支援手を育成する - 1 意欲ある	12	新規就農者・後継者育成団体の支援	新規就農者や農業後継者を中心に構成されている農業者団体への活動支援を行うことにより、区との連携の強化を図ります。		H23～H26	樹木の会と情報交換	樹木の会と情報交換	樹木の会と情報交換	樹木の会と情報交換	A
		13	後継者支援事業のPR・あっせん	東京都や東京都農林水産振興財団が実施する後継者支援事業や、東京都農業振興事務所が実施する農業後継者や新規就農者向けのセミナー等のPR・あっせんを行います。		H23～H26	検討	検討	検討	検討	B
		14	女性農業者への支援	女性農業者が積極的な活動を通じて農業経営に貢献できるよう、技術・経営研修の実施やグループ活動等を支援します。		H23～H26	女性農業者に情報提供	女性農業者に情報提供	女性農業者に情報提供	女性農業者に情報提供	A
	な - 2 意欲ある多様な 支援手を確保する	15	(仮称)練馬区農の学校システムの検討	都市農業の振興や都市農地の保全を進めるための支え手を確保するため、農作業や直売所の支援、PR活動等、幅広い取組を行うことを目的とした「(仮称)練馬区農の学校システム」の仕組みづくりを検討します。		H23～H26	基本計画の策定	実施計画策定	中核拠点用地の選定・準備会設置	整備・開設(予定)	A
		16	農作業ヘルパー・援農ボランティアの養成と活用の推進	農作業ヘルパー・援農ボランティアの養成研修やフォローアップ研修を通じて、農業者の多様なニーズに即した人材を育成・確保することにより、支え手の確保を図ります。また、農業者にとって活用が図られるよう、制度の見直しを図ります。	農作業ヘルパー・援農ボランティア	H23～H26	養成:10名	養成:13名	養成:10名	登録:27名(平成26年4月)	A
	フォローアップ研修				H24～H26	-	受講者23名 交流会3回実施	受講者7名 交流会2回実施	受講者15名 交流会2回実施	A	
都市農業・農地を活かした生産流通システムを推進する	- 1 安定的な市場出荷体制を確立する	17	市場出荷共同体制・品質管理体制の強化	JAを中心として、市場出荷における共同出荷体制や品質管理の強化を図り、キャベツ等の野菜について、市場評価の向上を図ります。		H23～H26	JA東京あおば野菜流通協議会を支援	JA東京あおば野菜流通協議会を支援	JA東京あおば野菜流通協議会を支援	JA東京あおば野菜流通協議会を支援	A
		18	野菜供給確保対策事業	農業者の経営安定と野菜の安定供給を図るため、東京都野菜供給確保対策事業を活用し、市場での価格が低落した際の価格差補填を行います。同事業に参加する生産者を対象に、東京都農林水産振興財団への生産者積立金を支援します。		H23～H26	42件	40件	36件	未定	A
		19	優良種子購入助成事業	市場での練馬産農産物の評価を高めるため、優良品種の普及と品種規格の統一を促進し、共同購入の拡大を図ります。東京都野菜供給確保対策事業に参加する生産者を対象に、優良種子の購入を支援します。		H23～H26	39件	30件	30件	未定	A
		20	土壌改良・病害防止対策事業	市場での練馬産農産物の評価を高めるため、連作障害を防止するとともに、土壌改良・病害防止剤を普及し、共同購入の拡大を図ります。東京都野菜供給確保対策事業に参加する生産者を対象に、土壌改良・病害防止剤の購入を支援します。		H23～H26	40件	40件	33件	未定	A
	- 2 地産地消を促進する	21	IPMハウス導入への支援	IPM(総合的病害虫・雑草管理機能)ハウスの導入への支援を行うことにより、環境保全型農業を推進するとともに、農地面積の減少の中でも、土地集約型農業を推進することにより、地産地消を促進します。		H23～H26	4戸5棟	4戸6棟	7戸12棟	6戸7棟	A
		22	自宅前直売所への支援	野菜無人販売機を中心とした、自宅前直売所の設置を支援することにより、地産地消を促進します。		H23～H26	6戸6台	2戸2台	3戸3台	4戸4台	A
		23	学校給食への区内産野菜の拡大	学校給食に対する地場農産物の導入を拡大します。また、JAを通じて、学校栄養士と農業者との連携を深めます。		H23～H26	連携強化	連携強化	連携強化	連携強化	A
		24	農産物安心確保促進事業	食の安心・安全を重視した栽培・出荷施設の整備、区民・消費者などに対するPRを支援する。	IPMハウスの整備による減農薬栽培の推進	H23～H26	4戸5棟	4戸6棟	7戸12棟	6戸7棟	A
	場 - 3 流通を 推進する 地	25	共同直売所の流通促進支援	共同直売所を地場流通のネットワークセンターとして位置付け、JAを中心として、出荷組合による品不足の解消や出荷調整、消費者ニーズの的確な把握等の取組を支援する。また、区民・消費者とのコミュニケーションを図る場としての活用を推進する。		-	-	-	-	-	B
		26	商店街空き店舗の活用	商店会が、空き店舗を活用して常設店舗やイベント等で農産物の直売を行う事業を支援する。		H23～H26	18事業	18事業	15事業	9事業(予定)	A

活 か し た 生 産 流 通 シ ス テ ム を 推 進 す る	物 に 対 す る 理 解 を 深 め る	4 地 場 農 産	27	生産者情報の発信	JAを中心として、生産者の顔の見える安心感のある仕組みづくりの研究を進めるとともに、区民・消費者の信頼を得るため、使用農薬名や散布回数・時期等の農薬使用状況について記帳する農産物の生産履歴記録と情報開示を推進する。また、練馬の地場農産物のキャラクターや愛称づくり等、区民・消費者に地場農産物をPRしていくための方法について検討する。	東京都関係制度の活用の推進	H23～H26	推進	推進	推進	推進	A	
						ブルーベリー観光農園PR支援におけるキャラクターの活用		活用	活用	活用	活用	A	
都 市 環 境 と 調 和 し た 環 境 保 全 型 農 業 を 推 進 す る	さ れ し 、 農 業 を 進 め る	1 安 全 環 境 と 信 頼	28	特別栽培農産物認証制度・エコファーマー制度の推進	共同直売所や市場での評価を高めていくため、東京都特別栽培農産物認証制度やエコファーマー制度のPRを行い、区民・消費者の理解を促進する。	H23～H26	農産物直売所マップ等でのPR	農産物直売所マップ等でのPR	農産物直売所マップ等でのPR	農産物直売所マップ等でのPR	A		
							29	優良堆肥・減農薬資材の使用促進	区内全域に有機・減農薬農業に取り組む農業者の拡大を図るため、有機・減農薬農業資材の購入を支援するとともに、あわせて農業生産の過程で生じる廃材(プラスチック容器、ビニール等)の発生抑制を推進する。	有機質肥料購入支援	H23～H26	70件	96件
	減農薬農業推進資材購入支援	H23～H26	32件	38件	42件	未定				A			
	を 活 か し た 農 業 を 進 め る	2 限 り あ る 資 源	30	30	落ち葉の堆肥化事業の推進	回収された公園・学校等の公共施設内の落ち葉を、農業者が堆肥化して農業に使用することを推進する。	H23	実施	自粛	自粛	自粛	B	
					31	学校給食リサイクル肥料の推進	農業者の要望をふまえながら、学校給食等リサイクル肥料の利用の拡大を図る。	H23～H26	5件80袋	7件207袋	6件123袋	未定	A
					32	堆肥置き場整備への助成	周辺の都市環境と調和した農業経営を推進するとともに、農業者が自ら行う土作りを支援するため、堆肥置き場の設置を支援する。	-	-	-	-	-	C
33					コンポストシュレッダーへの助成	周辺の都市環境と調和した農業経営を推進するとともに、野焼きを減らし、資源として活用が期待できる農業廃材の再利用を推進するため、コンポストシュレッダーの購入を支援する。	H23～H26	8戸8台	5戸5台	8戸8台	4戸4台	A	
-3 周辺の生活環境と調和した農業を進める	34	34	生産緑地保全整備事業	周辺の都市環境と調和した農業経営を推進するため、土留め、フェンス、生垣等の設置を支援する。	H23～H26	10か所	9か所	9か所	17か所(予定)	A			
											35	野菜ウォークラリー事業	農業者との交流を通して、練馬の農業に対する理解を深めてもらうため、農のある風景を観察しながら農産物の収穫を体験できる、野菜ウォークラリーを実施する。
都 市 住 民 が 農 と ふ れ あ う こ と が で き る 多 様 な 取 組 を 推 進 す る	1 農 と ふ れ あ う 機 会 を 創 出 す る	36	36	酪農体験事業	農業者との交流を通して、練馬の農業に対する理解を深めてもらうため、乳搾りや子牛との散歩等を体験できる酪農体験を実施する。	H23～H26	55名	90名	88名	94名	A		
				37	練馬大根育成事業	農業者との交流を通して、練馬の農業に対する理解を深めてもらうため、練馬大根の収穫体験や練馬大根引っこ抜き競技大会を開催する。	練馬大根収穫体験	H23～H26	175組503名	93組246名	196組582名	未定	A
							練馬大根引っこ抜き競技大会		454名	522名	503名	未定	A
				38	ふれあい農園事業の推進	練馬の農業に対する理解を深めてもらうため、区が小中学校、保育園、幼稚園等の団体を中心に、いも掘り等の仲介・あっせんを行なう。また、対象品目や事業に参加する農業者の拡大を図るとともに、従来の掘り取りに加え、うね売り、株売り等の事業化について研究する。	いも掘り等の仲介・あっせん	H23～H26	111団体821組	114団体716組	126団体687組	未定	A
				40	農業体験農園の整備支援	生産緑地地区の農地において、市民農園整備促進法の規定に基づき、農業者自らが開設し、運営する、概ね2,000㎡以上の農業体験農園に対して、開設および運営について支援する。	H23～H26	1園整備	-	1園整備	17園1,841区画<平成26年4月1日時点>	A	
40	農業体験農園の整備支援	生産緑地地区の農地において、市民農園整備促進法の規定に基づき、農業者自らが開設し、運営する、概ね2,000㎡以上の農業体験農園に対して、開設および運営について支援する。	H23～H26										1園整備

都市住民が農とふれあうことができる多様な取組を推進する

- 1 農とふれあう機会を創出する

で - 2 ける 農 情 報 の 魅 力 を 発 見

41	観光農園の整備支援	観光・交流型農業の推進のため、ブルーベリー観光農園をはじめとする観光型農園や、農産物や果樹等の栽培・植付けから収穫までを体験できる体験型農園の施設整備を支援する。		H24～H26	-	1件	2件	-	A
42	区民農園の整備・運営	農地(宅地化農地)の保全とともに、区民が土に親しみながら、農業に対する理解を深めるため、区民農園を整備し、運営する。		H23～H26	2園整備 運営	運営	1園整備 運営	19園1,594区画 <平成26年4月1日時点>	A
43	市民農園の整備・運営	区民に余暇活動の場を提供するとともに、良好な都市環境の形成と農地(生産緑地)の保全を図るため、市民農園を運営する。		H23～H26	運営	運営	運営	5園237区画<平成26年4月1日時点>	A
44	老人クラブ農園の整備・運営	老人クラブ会員の親睦と健康に資することを目的とした農園として、老人クラブ農園を整備・運営する。		H23～H26	24園	26園	25園	25園	A
45	学校農園の整備・運営	区立小中学校を対象に、土に親しみ、農作業を体験できる農園として、学校農園を整備・運営する。		H23～H26	運営	運営	運営	小学校11校 3569.52㎡ 中学校1校 879.12㎡ <平成26年4月1日時点>	A
46	農業公園の整備・運営	農作業の実習を通して、野菜作りの体験学習を行うとともに、昔の農作業を体験できる農業公園を整備・運営する。	大泉橋戸公園の拡張事業	H23～H26	水田を整備	稲作体験を実施	稲作体験を実施	稲作体験を実施	A
			土支田農業公園		事業運営を継続	事業運営を継続	事業運営を継続	事業運営を継続	A
47	果樹の森の整備・運営	指導を受けながら、柿の木の手入れ・収穫を体験できる施設を整備・運営する。	練馬区果樹を活用した体験学習施設の整備・運営	H24～H26	-	施設整備 体験学習 【H25.3～11】 (29組135名)	体験学習 【H26.1～11】 (25組106名)	体験学習 【H27.1～11】 (募集予定)	A
48	農業体験講座	短期間で手軽に農業に親しみ、理解を深める機会とするため、短期の農業体験講座を土支田農業公園において実施する。		H23～H26	農業教室の実施	農業教室の実施	農業教室の実施	農業教室の実施	A
49	(仮称)練馬ふれあい都民農園の整備	「都市農業のリーダー」として、区内の農地を23区民共有の財産として位置付け、23区民が利用可能な農園を整備し、従来の区民農園とは異なる、新しいタイプの農園づくりを検討する。		H23～H25	調査	調査・検討	検討終了	-	B
50	農とふれあえる拠点の整備	練馬区都市農地協議会が策定した「練馬区都市農業・農地を活かしたまちづくりプラン」で提案された、農とふれあえる拠点について、農のあるまちづくりを進める中で、農とふれあう拠点の整備を行なう。		H23～H24	大泉橋戸公園の整備	果樹を活用した体験学習事業用地の整備	-	-	A
51	JA東京あおば農業祭への支援	JA東京あおばが実施する農業祭を、ねりま区報、区のホームページ等を通じて、PR等の支援を行なう。	ねりま区報・区ホームページへの掲載 PRポスターの印刷・掲示	23～26年度	実施	実施	実施	実施	A
52	JA東京あおば即売会・品評会への支援	区内のJA東京あおば共同直売所で実施する即売会や品評会のPRについて、ねりま区報と区のホームページを通じて支援する。		H23～H26	実施	実施	実施	実施	A
53	農産物直売所マップの作成	地産地消を促進するとともに、農業者との交流を通して、練馬の農業に対する理解を深めてもらうため、共同直売所・農業者の自宅前直売所を案内するパンフレットを作成し、区民・消費者に配布するとともに、ホームページにも掲載する。		H23～H26	-	30,000部(掲載農家数 115戸)	-	30,000部(掲載農家数 109戸)	A

都市環境にうるおいをもたらす都市農地を保全する	見聞の発信力 - 2 魅力ある農情を発信する	54	観光農園PR事業	農業者との交流を通して、練馬の農業に対する理解を深めてもらうため、観光農園やその周辺の観光スポットを紹介する冊子を作成し、区民などに配布するとともに、ホームページにも掲載する。また、観光農園のイベントの開催について支援する。		H23～H26	冊子:18,000部 ポスター:500枚	冊子:15,000部 ポスター:500枚	冊子:16,000部 ポスター:700枚	冊子:16,000部 ポスター:700枚	A	
		55	農地関係制度に関する国への要望	都市農地(市街化区域内農地)を保全するため、「都市農地保全推進自治体協議会」を通じ、他自治体と連携しながら国に対して制度の見直しを要望する。とりわけ、現在、国において都市計画制度の見直しが検討されていることから、都市計画関連制度の改善を働きかける。		H23～H26	要望活動	要望活動	要望活動	要望活動	A	
	56	都市農地保全自治体フォーラムの取組	都市農地保全推進自治体協議会を通じて、他自治体と連携し都市農地保全について多くの都市住民にPRし、理解を促す。		H23～H26	参加者約460名 (都庁大会議場)	参加者約250名 (都民ホール) 即売会約600名 (都民広場)	参加者約250名 (都庁大会議場) 即売会700名 (東京アグリパーク)	参加者約380名 (練馬文化センター)、即売会700名 (ココネリホール)		A	
	57	農地保全の仕組の検討	都市農地(市街化区域内農地)を保全するため、生産緑地地区をはじめとする都市計画関連制度の活用など、区独自の農地保全策について組織間の連携により検討する。		H23～H26	検討	検討	検討	農の風景育成地区1地区指定(予定)	A		
	58	都市農地の活用の推進	特定農地貸付法や市民農園整備促進法の制度趣旨に則り、都市農地を活用した多種多様な農園の開設を推進する。		区民農園の整備・開設	H23～H26	2園整備	-	1園整備	19園1,594区画 <平成26年4月1日時点>	A	
					農業体験農園の整備・開設	H23～H26	1園整備	-	1園整備	17園1,841区画 <平成26年4月1日時点>	A	
	59	農地の適正利用	農地法の改正を受け、新たに取組が必要となる遊休農地対策や、違反転用に向けた対策等、農地管理推進月間を設定し、農地の適正利用の管理を行う。		H23～H26	農地パトロールを実施	農地パトロールを実施	農地パトロールを実施	農地パトロールを実施(予定)	A		
	身近に農のあるまちづくりを進めるための枠組みを整備する	組進るみめま - 1 をるまちを整たづ備めく農すのりのる枠をあ	60	(仮称)農のあるまちづくり推進協議会の検討	農のあるまちづくりを進めるため、「(仮称)農のあるまちづくり推進協議会」の設置を検討する。		-	-	-	-	-	C
			61	農業者との懇談会の開催	地域における都市農業・農地の役割の確立を目的として、農業者、JA、区による懇談会を開催する。		H23～H26	意見交換を実施	意見交換を実施	意見交換を実施	意見交換を実施	A
			62	農に関する条例制度の研究	練馬区都市農地協議会が策定した「練馬区都市農業・農地を活かしたまちづくりプラン」で提案された農に関する条例制度を研究する。		-	-	-	-	-	C
63		インターネットによる農業情報発信の実施	都市農業・農地の果たす多面的機能に対する区民の理解を深めるため、区のホームページにおいて、都市農業・農地に関する情報の充実を図る。		H23～H26	運用	区ホームページ内の農業関連ページを再編・充実	運用	運用	A		
			64	農に関する冊子の作成	都市農業・農地の果たす多面的機能に対する区民の理解を深めるため、練馬の農業・農地をPRするための紹介冊子を作成する。		H24	-	「ねりまの農業」8,000部	-	-	A
65		都市農地の評価方法の研究	都市農業・農地の果たす多面的な役割を、多くの区民等により身近に分かりやすく理解してもらうため、都市農地の評価方法について研究する。		H23～H26	各イベントにおけるアンケート	各イベントにおけるアンケート	各イベントにおけるアンケート	各イベントにおけるアンケート	B		
66	農のまち歩き観光への活用	都市における農とのふれあいを、新たにまち歩き観光の観点から捉え、区内外に幅広い農の魅力発信するため、「練馬区長期計画」に基づき、新たな観光資源としての農の活用を推進する。		練馬区ブルーベリー観光農園紹介冊子・ポスターの作成	H23～H26	冊子18,000部・ポスター500枚	冊子15,000部・ポスター500枚	冊子16,000部・ポスター700枚	冊子16,000部・ポスター700枚	A		
				練馬区農産物直売所マップの作成	H23～H26	-	30,000部	-	30,000部	A		

67	練馬大根育成事業	(再掲)まち歩き観光の推進において、他の観光資源との連携も図りながら、練馬の歴史と文化を象徴する農産物として練馬大根の普及を図り、練馬大根の収穫体験や練馬大根引っこ抜き競技大会を通じて、区の観光資源として位置付ける。		H23～H26	周知	周知	周知	周知	A
68	農産物直売所マップの作成	(再掲)直売施設の案内に加え、農に関する情報や他の観光資源も掲載することで、まち歩き観光におけるハンドブックとしても活用できるよう充実を図る。	農産物直売所マップの地図面の充実	H23～H26	-	30,000部	-	30,000部	A
69	観光農園PR事業	(再掲)観光農園の紹介に加え、農に関する情報や他の観光資源も掲載することで、まち歩き観光におけるハンドブックとしても活用できるよう充実を図る。	練馬区ブルーベリー観光農園紹介冊子の充実	H23～H26	18,000部	15,000部	16,000部	16,000部	A
70	ふれあい農園事業	(再掲)まち歩き観光の推進において、他の観光資源との連携も図りながら、観光・交流型農業の1つの経営形態として、区外にも幅広くPRする。	ふれあい農園の団体利用募集に当たり、近隣区の保育園等にPR	H23～H26	実施	実施	実施	実施	A
71	農産物オーナー事業の研究	(再掲)まち歩き観光の推進において、他の観光資源との連携も図りながら、観光・交流型農業の1つの経営形態として、区外にも幅広くPRする。		H23～H26	検討	検討	検討	検討	B
72	農の福祉・保健への活用	農とのふれあいを心身の健康維持・増進に活用するため、福祉・保健分野の区の個別計画において、農を活用した取組の推進に向け、事業化を検討する。		H23～H26	検討	検討	検討	検討	B
73	老人クラブ農園の整備・運営	(再掲)老人クラブ会員の親睦と健康に資することを目的とした農園として、老人クラブ農園を整備・運営する。		H23～H26	24園	26園	25園	25園	A
74	農の環境保全への活用	ヒートアイランド現象の緩和、二酸化炭素の排出抑制等、農の持つ環境保全機能を活用するため、「練馬区環境基本計画」、「練馬区リサイクル推進計画」に基づき、環境保全に資する取組の推進を図る。また、循環型社会を築き、みどりと共生する区民生活を実現するために、区・区民・事業者と協働して、民有地の落ち葉や剪定枝のリサイクルに取り組む「みどりのリサイクル事業」を進める。	エコライフチェック事業による植樹の検討	H23～H26	-	-	検討	実施予定	A
			環境イベントに伴う二酸化炭素排出量をオフセット		-	-	実施	実施予定	A
			落ち葉や剪定枝のリサイクル		実施	自粛	自粛	自粛	B
75	練馬区版カーボン・オフセット制度の創設	みどりの二酸化炭素(CO2)吸収効果を区内の温室効果ガス排出量の削減に反映させる仕組みとして、区内のみどりの育成(区内における新たな樹木の植樹、屋上緑化、森の手入れ、農地の保全)等と連携した、区独自のカーボン・オフセット制度を創設する。	エコライフチェック事業による植樹の検討	H23～H26	-	-	検討	実施予定	B
76	学校給食リサイクル肥料の推進	(再掲)農業者の要望をふまえながら、学校給食等リサイクル肥料の利用の拡大を図る。		H23～H26	5件80袋	7件207袋	6件123袋	未定	A

77	農の教育・食育への活用	<p>家庭や学校給食で地場農産物を積極的に取り入れ、心身の健康と、豊かな人間性を育むため、「練馬区健康づくり総合計画」、「練馬区小中学校における食育推進計画」に基づき、食育の推進を図る。さらに、総合的な学習の時間の中で、農業を体験できる事業の情報提供を行う。</p> <p>また、学校農園、学童農園だけでなく区民農園の団体利用の拡大を図るとともに、区立小中学校、幼稚園の教育施設や保育園等に練馬大根の種の配付を行い、栽培の体験を推進する。</p>	食育推進ネットワーク会議	H23～H26	開催	開催	開催	開催	A
			食育推進講演会		開催	開催	開催	開催予定	A
			農業祭での食育イベント		開催	開催	開催	開催予定	A
			食育推進冊子		発行	発行	発行	発行予定	A
			練馬大根種子の配布		無料配布	無料配布	無料配布	無料配布	A
			地場産物を利用した学校給食の全校一斉実施		実施	実施	実施	実施予定	A
78	食育推進ネットワーク会議の開催	食育推進ネットワーク会議を通じて、区民・消費者、団体、事業者、区が連携・協働して食育の普及啓発に取り組むことにより、区民が区内の農業への理解を深めるなど、農業を活かした地産地消の推進を図る。		H23～H26	実施	実施	実施	実施	A
79	学校給食への区内産野菜の拡大	(再掲)学校給食に対する地場農産物の導入を拡大する。また、JAを通じて、学校栄養士と農業者との連携を深める。	学校栄養士への情報発信等	H23～H26	実施	実施	実施	実施予定	A
80	学校農園の整備・運営	(再掲)区立小中学校を対象に、土に親しみ、農作業を体験できる農園として、学校農園を整備・運営する。		H23～H26	運営	運営	運営	小学校11校 3569.52㎡ 中学校1校 879.12㎡ <平成26年4月1日時点>	A
81	農の防災への活用	災害時の延焼防止やオープンスペースとしての防災機能を活用するため、「練馬区地域防災計画」に基づき、災害時の生鮮食料品の供給や復旧資材置き場など都市農業・農地の持つ防災の役割を推進する。また、JAと区が締結している「災害時における農地の提供協力協定」について、登録農業者の拡大を図る。		H23～H26	検討	調査・検討	調査・検討	協議	B
82	農の景観・みどりの保全への活用	屋敷林、農地等が一体となった景観を形成する練馬らしい景観を保全するため、「練馬区みどりの基本計画」に基づき、郷土景観保全地区の指定を進め、農地やみどりの保全を推進する。また、「(仮称)練馬区景観計画」に基づき、景観の保全策を推進する。		H23～H26	検討	検討	検討	農の風景育成地区 1地区指定(予定)	A
83	地場農産物ブランドの育成	(再掲)地場農産物ブランドの育成事業を推進することにより、練馬の歴史と文化を象徴する農産物の普及を図る。	練馬大根育成事業	H23～H26	12,875本	13,280本	13,889本	14,000本(予定)	A
			金子ゴールデンピールの製造・支援		11,280本	14,998本	11,310本	約16,000本(予定)	
84	農に関する冊子の作成	(再掲)「まち歩き観光ガイドマップ」や「ねりまの散歩道」等の各種ガイドマップを通じて、農のある練馬の風景を発信する。	冊子「ねりまの農業」	H23～H26	-	8,000部	-	-	A
			まち歩き観光ガイドマップ		60,000部	-	10,000部(増刷)	-	
			ねりまの散歩道		印刷25,000部	印刷10,000部	印刷38,000部	印刷42,000部(予定)	